

質問 観光客を迎える拠点づくりが必要と考えるがいかがか。

市長 潜在的な資源の掘りおこし等、拠点づくりは大切であり、今後十分研究していきたい。

質問 チュールリップの成分を製油した化粧水など「羽村市ブランド」の製品化

が可能と考えるがいかがか。

市長 「チュールリップ化粧水」の製造は今後研究課題とし、ブランドの開発は羽村市商工会や羽村市観光協会などを中心に検討をお願いし、側面から支援していきたい。

について伺う。

市長 10月1日から平日4便だった運行を8便に増やす。

質問 羽村東コースは運行間隔が長く、また、利用者が多い。車両を増車する考えはないか。

市長 懇談会からも増車を検討すべき

との報告を受けた。全体の利便性が向上するよう検討する。

質問 「はむらん」はタイヤチェーンを装着できない。また、座席が硬いとの声がある。車両を買い替える考えはないか。

市長 平成21年3月末の車両リース満了時に向けて早急に検討したい。

もんま ひでこ
門間 淑子 議員
(市民ネットワーク「いきいき広場」)



◇学校教育環境の充実について ◇入札・契約制度の改革について

学校教育環境の充実について

質問 都が公表した地方教育費調査報告書で、羽村市の学校教育費が近年減少していることがうかがえる。理由は何か。

教育長 学校事務職員の嘱託員化や用務員の委託化などの人件費の抑制、事務事業の見直しによる経費削減などが挙げられる。

質問 学校図書は国基準を満たしているか。

教育長 羽村西小が目標に対し95%の蔵書数だが、来年度には達成できる見込みである。また、羽村市は文部科学省の「学校図書館図書整備5か年計画」

で定めた標準学校規模の図書購入費を昨年度下回っていたため、今年度予算で増額した。来年度も目標が達成できるよう、予算要望をしていきたい。

質問 隣接する武蔵野小と羽村三中が一貫校として小・中一貫教育のパイロット校に位置付けられているが、他の小・中学校は学校間に距離がある。一貫校と連携校では条件に格差が生まれる。

教育長 地域住民の理解がなければ実現は困難だが住民説明会の予定はいつか。

教育長 中間報告では、武蔵野小と羽村三中をパイロット校として開校する

となっており、連携校には触れていない。今後連携校について検討し、市全体の小・中一貫教育のあり方を示したい。最終的な検討結果を待つて、市内の教職員や保護者、市民にも説明会を開き、意見を聞いていく。

入札・契約制度の改革について

質問 入札・契約制度を客観的・定期的に審査する第三者委員会を設置しては。

市長 入札契約事務の適正化の一環として、第三者機関等、客観的視点も必要と考えている。複数の地方公共団体による第三者機関の共同設置や、監査委員などの既存組織の活用も含めて、検討していきたい。



▲武蔵野小学校

※連携校：既存の小・中学校がそれぞれの学校施設や組織・運営を維持しながら、連携して小・中一貫教育を行う学校。



▲河原に集まる猫

飼い主のいない猫対策について
質問 猫に関する苦情の内容と市の対応は。
市長 平成19年度の苦情は30件で、内容は、無責任な餌付けで猫が集まり、繁殖を繰り返す、糞尿による臭気、鳴き声で迷惑しているというものがほとんど

である。対応については、餌をむやみに与えないこと、室内で飼うこと、不妊去勢手術を徹底することを指導している。
質問 「飼い主のいない猫対策」を市はどのように考えているか。
市長 無責任な餌付けをしない等の対策について、地域における合意や地域住民の協力が不可欠であり、時間をかけて取り組んでいく必要がある。
質問 市民との協働の観点からボランティアの力を借りて解決する考えはないか。
市長 市民協働の観点からもボランティアの力をお借りすることは必要であり、今後、ボランティアにどのような役割を担っていただくのかなどを検討していきたい。

安全通行のため道路の拡幅を

質問 羽村堰歩道橋から寺坂へ抜ける道路はまだ何の計画もない。具体化するべきでは。

市長 東京都が都市計画道路として整備していく道路だが、整備されるまで

いちかわ えいこ
市川 英子 議員
 (日本共産党)



- ◇飼い主のいない猫対策について
- ◇安全通行のため道路の拡幅を
- ◇原油・物価高への具体的施策を急げ

すずき たくや
鈴木 拓也 議員
 (日本共産党)



- ◇小・中一貫校構想について
- ◇児童クラブ・放課後子どもプラン
- ◇横田基地にかかわる問題について

小・中一貫校構想について問う

質問 教職員アンケートでは「小・中一貫校は学力の向上や不登校の解決につながらない」と多くの教員が考えていることが明らかになった。この結果についてどう考えるか。

教育長 中間報告の内容が十分に理解されていない。今後、十分な説明が必要であると考えている。

質問 現場の教員の多くは「羽村市の教育の向上のために市に望むことは」とのアンケートの問いに、30人学級の実現、2学期制の再検討などを回答している。教育委員会はこの声をきちんと受け止めるべきではないか。

教育長 東京都教育委員会の方針に基づき40人学級を維持する。2学期制は、これまでの成果と課題を整理し、よりよいものにしていく。

児童クラブ、放課後子どもプランについて問う

質問 児童クラブの開所時間の延長を



▲富士見児童クラブ

実現すべきではないか。

市長 実施に向けて検討していきたい。

質問 障がいを持つ子の受け入れ学年を拡大すべきではないか。

市長 児童の体力差、受け入れ体制等の課題があり、当面は現在の体制で実施していきたい。

事業見直しについて
質問 事業費355億円の区画整理事業への批判が高まっている。市長は区画整理はやめなと言っているが、最近では稲城市百村地区で権利者の合意が得られず事業を中止し、地区計画によるまちづくりに変更した。中止にはどんな法的手続きが必要か。
市長 土地区画整理の整備手法を見直し、事業を中止する考えはない。
質問 換地設計案の個別説明会で意見書には個々に回答すると答え、議会でも市長は内容に応じて個別に回答する

と答弁している。権利者は返事を待っている。いづどんな方法で回答が来るのか。
市長 ご意見、ご要望は取り扱い方針を定め、土地区画整理審議会の意見を聞きながら見直しを行うので、権利者にはその後に回答することになる。
情報提供について
質問 「市政情報不開示決定取消請求訴訟」で市は被告になっている。情報提供に不備があったのか。
市長 請求者が求めている市政情報が、個人に関する情報や、公にすることに

やまざき よういち
山崎 陽一 議員
 (世論)



◇住民いじめの西口区画整理を問う
 ◇情報公開を怠る市政の改善を
 ◇温室効果ガス削減への対応を問う

は市道として安全確保のため、スクー
 ルゾーンの指定、時間制限による車両
 規制等、福生警察署と協議する。
**原油・物価高騰から子ども、高齢者、
 福祉施設、低所得者、業者等を守る
 具体的施策を急げ**
質問 配食サービス、民間保育園、福祉

施設、学校給食へ食材料費の補助を。
市長 補助する考えはない。
質問 市内業者への支援は。
市長 原油・原材料高緊急対策資金融資
 制度の新設を行い、資金調達などの支
 援をしていく。

質問 大規模化している学童クラブを
 解消するため、増設を行うべきでは。
市長 検討委員会で検討中である。
質問 放課後子どもプランの検討はど
 こまで進んでいるのか。
市長 他市の状況の視察や調査をしてい
 る。今後、これらをもとに結論付けていく。

横田基地にかかわる問題について問う
質問 運び出されている25万㎡の残土
 が水源地へ悪影響を及ぼす懸念がある。
 どのような連絡を受けているか。
市長 検査結果は基準値以下と聞いて
 いる。

より人の生命、身体、財産、社会的地位
 の保護や犯罪の予防などに支障が生ず
 る情報であるなど、条例に定められた
 理由により開示できない場合がある。
 決定に不服のある場合は、市を被告と
 して処分取り消しの訴えを提起できる
 ので、その手続きによるものである。
公共事業での温室効果ガス削減を
質問 羽村駅西口駅前の1棟が3月に
 取り壊されたが、工事に伴う二酸化炭
 素の排出量はどのくらいであったか。
市長 取り壊し工事は民間で実施された
 もので、燃料使用量などのデータがない
 こと、建築・土木工事などの算定方法が確
 立されていないことから把握していない。



▲情報公開・個人情報保護コーナー(市役所3階)



▲工作中的市職員

地球温暖化対策の推進を
質問 地球温暖化対策地域推進計画の策定の見通しは。
市長 平成20年度中に、市全体から排出される温室効果ガス排出量を把握することが可能となるため、平成21年度の早い時期には計画の策定に着手して

いきたい。
質問 千代田区では「地球温暖化対策条例」を施行している。羽村市も条例の制定を。
市長 まずは地球温暖化対策地域推進計画を策定、計画に基づく取り組みを推進し、条例制定の必要が生じた場合には対応していきたい。
質問 羽村駅西口土地区画整理事業における温室効果ガス排出量の算出を。
市長 建築・土木工事における温室効果ガスの排出量の算定手法が未確立のため算出していないが、今後研究していきたい。
市職員の増員と臨時職員の待遇改善を
質問 羽村市の職員は他自治体に比べて少ないのでは。
市長 平成20年4月の人口千人当たりの職員数は6・43人で、東京26市中少ない順で13番目で、特に少なくはない。
質問 市職員の時間外勤務の実態は。近隣市と比較してどうか。

なかはら まさゆき
中原 雅之 議員
 (日本共産党)



◇地球温暖化対策の推進を
 ◇市職員増員と臨時職員待遇改善を

いしい ひさお
石居 尚郎 議員
 (公明党)



◇緊急経済対策、地域活性化対策を
 ◇介護サービス等、高齢者福祉の充実

原油高・物価高に対する緊急経済対策、地域活性化対策を
質問 3月議会で「中小企業対策の強化」と題し質問した。その後さらに景気は悪化。これらに対し、短期的、中長期的な検討と対策は。
市長 今年10月から中小企業振興資金融資制度の中に緊急融資枠を設け、支援していく。また、企業活動支援員等により個別に指導を実施していく。
質問 地域活性化に向け「歴史まちづくり法」「観光圏整備法」について羽村市の実情に合った活用を検討を。
市長 歴史的文化財の保護とともに、観光地の拠点づくりとしても、活用できる制度であると認識しているので、研究していきたい。観光圏整備事業は、広域的に調査検討していくことが望ましいと考え、機会を見て西多摩地域広域行政圏協議会等へ積極的に働きかけていきたい。
質問 「農商工等連携促進法」が施行さ

れたが、農商工連携をどのように考えているか。
市長 市内の農業者・事業者には十分周知し、連携の機運づくりを支援していく。
介護サービス等、高齢者福祉の充実を
質問 「生まれ育った地域で老後の暮らしを」と考え、より身近での支援セン



▲高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画